



第 1722 回 (3 月 30 日) 例会報告

- | | | |
|-------------|-------|-----|
| * 点 鐘 | 新井 啓介 | 会長 |
| * ローターソング斉唱 | 奉仕の理想 | |
| * 4つのテスト唱和 | | |
| * 来訪者紹介 | | |
| * 会長報告 | 新井 啓介 | 会長 |
| * 幹事報告 | 島崎 義春 | 幹事 |
| * 出席状況報告 | 上原 謙一 | 委員長 |
| * ニコニコ報告 | 五十幡和彦 | 委員長 |
| * 委員会報告 | | |
| 国際奉仕委員会 | 半田 太 | 委員長 |

会長報告



会長 新井啓介

先週 24 日(水)、(財)日本さくらの会の第 45 回さくらまつり中央大会に、島崎幹事と行ってまいりました。昭和 39 年に設立された会ですが、会場は、国会議事堂前の憲政記念館でした。講演会は、原不二子(尾崎行雄の孫、相馬の長女)さんと、「尾崎行雄と相馬雪香(三女)のさくらへの想い」でした。尾崎

は東京市長時代(1903年~1912年)、日露戦争の際に米国が日本に対して好意的だったことに非常に感謝していた。1909年、米国大統領タフト氏夫人が、日本の桜を米国の首府ワシントンのポトマック河畔に植えたいという希望を知り、尾崎は 2000 本の苗木をワシントンに送った。しかしその苗木は、その後の検査で害虫が発見されすべて焼かれてしまった。残念に思った尾崎は、健全な苗を育てさせ、1912年、今度は 3000 本を送った。苗木は無事育ち、現在も見事な美しさでポトマック河畔の春を彩っている。憲政会館には、尾崎行雄のメモリアルホールがある。講演会後の、式典は、横路孝弘会長(衆議院議長)に始まり、江田五月参議院議長、辻本清美国土交通副大臣、等多数の国会議員の来賓挨拶、紹介があり、さくらの女王紹介、さくら功労者の表彰がありました。雨の中の記念植樹「東錦」、そしてレセプションでは、今回の忍川の植樹でお世話になった、浅田事務局長を探して、お礼を言ってまいりました。陽光桜が、ちょうど満開で綺麗でした。そして、その夕刻より細井さんの出版記念パーティーあり、会員皆様にご協力いただき大盛会のパーティーとなりました。

来月 4 月 4 日~6 日の韓国・慶州、釜山の観桜親睦旅行も間もなくです。今年は、ここのところの寒さで開花も足踏み、少し遅れているようですが、楽しみです。

さて、今年度、残された事業の一つ「我等の生業」の発刊は、発刊記念例会として、6 月 1 日の夜間例会で、行なうこととなりました。

本例会は「私の生業」シリーズの 5 回目です。私がやらせていただきますが、ご清聴よろしくお願い致します。

幹事報告



幹事 島崎義

春

それでは、幹事報告をいたします

本日は、理事会が開催されました。承認されました議案を、報告いたします。

第1号議案 5月のプログラムの件 【承認】

第2号議案 4月13日(火) 4月第2例会 例会会場

変更(案) 承認の件 【承認】

古代蓮の里のさくら植樹記念碑を披露したく、古代蓮会館11時集合。

第3号議案 5月11日(火) 5月第2例会 企画(案)

承認の件 【承認】
佐間公民館での夜間例会に変更、田中利幸会員の指導で、会員のご家族も一緒のイタリア料理教室。

第4号議案 『我らの生業の発刊』に伴う補正予算承認の件 【承認】

第5号議案 6月1日(火) 6月第1例会 夜間例会に

変更 承認の件 【承認】
我らの生業の発刊記念例会、加藤ガバナナー、西川ガバナナーエレクト、立原ガバナナーノミニー、ほか多数のご来訪いただける予定。企画(案)については、第12回 理事会で審議予定。

第6号議案 『行田ミニドキュメンタリー映画祭』後援承認の件 【承認】

第7号議案 『さきたま火祭り』協賛の件 【承認】 例年の通り 1万円の協賛

第12回 理事会が、4月27日(火) 第13回 理事会が、6月8日(火)に、変更。

4月の例会プログラムを、確認。

4月 4日(日)～6日(火) 慶州・釜山の 春季親睦観桜旅行。産文脇駐車場 5:45 集合 6:00 出発。

4月13日(火) 明日のための特別委員会担当例会、古代蓮会館で11時集合。

4月18日(日) 2009 10年度 国際ロータリー 第2570地区 地区大会

会場は、本庄市民文化会館

産文脇駐車場 8:00 集合・出発

4月27日(火) 行田市出身の映画監督 茂木 薫さんの卓話。例会時間の延長の可能性あり。理事会も開催。

報告事項

4月 2日(金) 『行田とものつくり大学を結ぶコンサートV o 1・6』ものつくり大学体育館、午後1時30分より。

4月11日(日) 『星川とキタミソウを守る会』総会及び「行田の自然」上映会 及びキタミソウの観察・星川の清掃活動

南河原公民館 9時集合

4月23日(金) 熊谷西 RC 創立35周年記念式典 熊谷市 キングアンバサダーホテル

4月25日(日) 2010年国際ロータリー第2570地区 地区協議会。深谷市の埼玉工業大学 10時 点鐘。

本日は以上です。ありがとうございました。

出席報告

上原謙一委員長

会員数	出席対象者	出席	メーキャップ	出席率
41名	39名	22名	7名	74.3%

ニコニコ報告

五十幡 和彦委員長

新井会長 本日、「私の生業」卓話させていただきます。昨日3月29日は母の米寿の誕生日でし

た。介護度は要支援2で、週1度のデイサービスを楽しみにしており元気です。感謝！

島崎幹事 大学進学が決まった下の娘が先日、鎌倉に遊びに行き、お土産に御守りを買ってきてくれました。なぜか頭が茶髪になっていましたが、絶妙のタイミングでお土産をわたされ、怒る機会を失いました。最近のネーチャンの行動は私には理解できません。

清水会員 「生業の 会長卓話 風光る」
会長さん、「我等の生業」の小冊子の発行を楽しみにしております。

斉藤会員 新井会長さん、本日の卓話宜しくお願ひ致します。

松岡会員 「春寒や 生業聞く 卓話かな」
会長さん、卓話ご苦労様です。

細井会員 元地区事務局 柳田さん本日はご苦労様です。新井会長、本日の卓話楽しみにしています。

3月24日、私の発刊記念パーティにご出席頂き、誠にありがとうございました。

横川会員 新井会長の「私の生業」の卓話、楽しみにしております。

川辺会員 新井会長の卓話、楽しみにしています。本日はご苦労様です。

小澤健一会員 新井会長「私に生業」卓話楽しみにしています。

矢澤会員 新井会長の卓話、興味深々です。

橋本会員 さくらが咲き始めました。丸善株式会社より、さくらのことを学ぶのに良い本が出ましたので紹介します。「さくら百科」です。

日本櫻学会発足を機に出版されました。

田中利幸会員 4月2日、まもなく行田とものつくり大学を結ぶコンサート本番です。

PM1:30、宜しければ応援においで下さい！シーソーゲームなんかも熱唱させられます。

田島会員 子供が成績表をもらって来ました。毎度のことですが次回に期待の内容でした。

半田会員 4月に入りますと次年度の炉辺が始まります。後ほど御案内しますので、御出席

の程宜しくお願ひします。

時田会員 明日で3月も終わりですね。来週末には桜がかなり開いているでしょう。その前に観桜旅行に行ってきます。

五十幡会員 今月は例会が5回、ニコニコの原稿おこしが5回、週報の編集も今月が担当で5回。でももっと大変なのは会長報告を5回書いている新井会長、幹事報告を5回まとめている島崎幹事、週報の印刷を担当する事務局の田口さんです。ご苦労様です。

小澤誠邦会員 本日は新井会長の卓話、「私の生業」を楽しみにしています。宜しくお願ひします。

同文 戸ヶ崎会員、倉持会員、上原会員、堀会員

埼玉防災ネットワークの登録依頼



NPO法人キャンパー事務局 柳田 薫さん

卓話報告



私の生業

ロータリーとは、職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

私は、「すべてのロータリアンには、語るべき自分の生業がある」と思います。私たちロータリアンは、こんなときこそ原点に立ち返り、自分の生業をみつめ、それを記録にして将来展望をする必要性を感じ、この事業を提唱いたしました。原稿の取りまとめに奔走しております田島委員長はじめ、職業奉仕委員会の皆様、原稿提出協力を頂きました会員皆様に感謝申し上げます。『我等の生業』はロータリアンとしての原点です。

本日は、限られた時間ではありますが、私が卓話をさせていただきます。

父の生業

私は、小学生の頃書いた作文で、将来は、父の仕事の後を継いで、親孝行をしたいと書いたことを記憶している。その時代の親の教育、社会風潮だったのかもしれない。私の父(平成 11 年 7 月 8 日他界)は、羽生に生まれ、農家の次男ということで、羽生実業卒業後、地元の被服縫製の会社に就職し、徴兵、兵役、終戦を経て、仕事に復帰し、結婚、その後、行田で独立し、縫製業を始め、昭和 28 年に創業した新井被服工業(有)を営んでいました。私は、物心つく頃から遊び場は、縫製工場の中でした。当時、仕事は、毎日忙しく、朝から晩まで、日曜日も休み無く稼動していたと思います。女工さんは、通いの者、住み込みの者、大勢いてその中で、遊んでいた

記憶があります。東京に店(営業所)を出し、父の兄弟身内を含めて、仕事に取り組むようになって、東京は営業部門、行田は製造部門ということで、事業は拡大発展していきました。しかし、昭和 40 年頃、兄弟の確執もあって、製造と販売を別会社にし、東京の販売会社は、父の弟が代表となり、父は製造に専念することになりました。この頃の日本経済は、発展いちじるしく、特に製造業、電器関連そして自動車関連と、、、従って、やがて求人難の時代に入り、労働集約型の被服縫製業は、求人に苦勞をするようになり、そして斜陽産業と呼ばれるようになりました。

後継者としてのプロローグ

私は、一日も早く家業に就くために高校は、昭和 39 年熊谷商業高校へ入学、しかし時代の流れが変わったのか、これからの時代は大学くらい進学しなくては、、、担任の先生の奨めもあり、受験戦争という言葉が生まれた時代でもありましたが、明治大学・経営学部に入學いたしました。と言うより他の大学は合格しなかったからです。当時は大学紛争真只中で、学校がロックアウト状態で、半年~1 年くらいはどこの大学も休校していました。在学中学んだ専門は、経済学、経営学、私は、公認会計士をめざして勉強した時期もありましたが、結局結果が出せず卒業することになりました。そして、父の勧めで、同業他社で修行することになっておりましたが、それを断り、自分で大学の就職課を通じてある会社に就職いたしました。それは、いずれ父の後を継がなくてはならないのなら将来目標となりうる会社に入社してみようと考えたからでした。入社後、繊維のことに詳しいからという事で、衣料部門に配置されましたが、営業の希望を出したことで、京都営業所に転勤となり、ここで退職までの、延べ 3 年間を過ごすことになりました。この京都での会社営業を通じて、多くのことを学ばせていただきました。

家業に就く

退社後、家に戻り父と仕事をするようになった頃は、第一次オイルショック直前で、物価は急騰し、造れば売れる時代で今考えるといい時代でした。しかし、オイルショックですぐに不景気になり、造った製品が倉庫に貯まり、当時は週休 1 日でしたが、週休 3

日にせざるをえなくなりました。何か今日の経済環境と似ていますが、...

この時期受講した『経営セミナー』は、私の会社経営の指針になりました。その一つは、『事業の本は人にあり』、二つは、『最大の企業より最良の企業になれ』、三つは、『会社は環境適応業であれ』と言うことでした。その後、私は、昭和50年3月に結婚し、より一層仕事に精進いたしました。しかし、父と一緒に仕事をやっていくと、どうしても父は保守、私は革新という立場になり、親子の確執問題で悩むことも多々ありました。先輩Y氏I氏の勧めで、昭和53年より(社)行田青年会議所(JC)に、入会し、その後は、会社では、専務として父である社長の2として、仕事に、家庭に、JCに、一生懸命取り組みました。と言うとカッコいいですが、仕事に熱心に取り組めば取り組むほど社長である父とぶつかるので、そのはけ口で、JC運動にのめりこんでいったような気がします。昭和60年に理事長を務めることになり、私のJCライフは、頂点に達しましたが、昭和63年卒業までの間、多くの経験と友人を得ることが出来ました。このことが、JC卒業後の平成元年、株式会社リノンの立ち上げの原動力になりました。

ちょうど時間となってしまいました。この続きは、「我等の生業」をお読みいただくということで、本日の卓話を終了させていただきます。ご清聴ありがとうございました。